



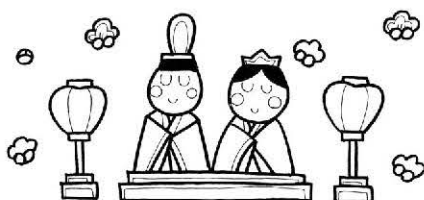
予算特別委員会

## 3月定例会の概要

平成26年3月定例会は、3月3日に開会し、24日間の会期で26日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の報告2件、諮問1件、予算案26件、条例案46件、その他3件、計78件、請願5件、その他8件、合計91件が上程されました。

その内、請願第6号、第7号、第10号、第11号が継続審査となり、請願第8号は不採択、その他の案件については原案のとおり可決等されました。



## 【3月定例会日程】

会議日	会議別	会議内容
3日(月)	本会議	議案の上程 提案理由の説明
	委員会	行財政問題特別委員会
6日(木)	本会議	一般質問(5名)
10日(月)	本会議	議案に対する質疑
	委員会	総務委員会
11日(火)	委員会	民生文教委員会
12日(水)	委員会	産業建設委員会
13日(木)	委員会	予算特別委員会
14日(金)	委員会	予算特別委員会
18日(火)	委員会	予算特別委員会
19日(水)	委員会	予算特別委員会
	委員会	議会改革特別委員会
20日(木)	委員会	行財政問題特別委員会
26日(水)	本会議	委員長報告 討論、採決

※次回定例会は6月に開催の予定です。

# 市政をたずね 一般質問



今定例会では、5人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたずねました。

質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。

なお、掲載は質問順、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

## 一般質問者

No	質問者	No	質問者
1	河野裕保	4	岩渕治樹
2	遠藤素子	5	石崎久次
3	佐々木加代子		

## 会議の詳しい内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市立図書館、中央公民館、中央公民館保内別館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページ上でもご覧になれます。



河野裕保議員

### 質問事項

- 1 市政の産業振興策における介護サービス産業をどのように位置づけ係わっていくのか
- 2 いわゆる2025年問題の大介護時代到来の備えについて
- 3 認知症の現状と対策について

### ① 大城市政の産業振興策における介護産業の位置付けについて

**問** 介護保険制度によって、介護関連産業を創出し、多くの雇用を生み介護サービス産業が著しく伸張している。自治体によっては、介護関連産業が雇用の大きな受け皿になっている。大城市政の産業振興策はこの介護サービス産業をどのように位置づけているのか。

**答** 介護保険サービス産業は大きなマーケットになっており、成長産業として期待されている。しかし、収入の大部分は税金と保険料で賄われており、業界の量的拡大には一定の歯止めがかかると思われる。介護ビジネスに限らず需要と供給のバランスが産業全体の課題であり、産業構造の調和と安定の政策を考えたい。

### ② いわゆる2025年問題、大介護時代の備えについて

**問** いわゆる2025年問題は、団塊の世代が満75歳に到達し、大介護時代が到来することである。本市の後期高齢者も8千人近くになると予測される。そこで今後の介護認定者の見込み、サービス供給体制の確保、保険料はどのように推移していくのか伺いたい。

**答** 介護認定者は25年1月末現在2397人で前年比65人、2・8%増加、26年1月末現在2453人、前年比56人、2・3%

### ③ 認知症の現状と対策について

**問** 本市の25年4月現在の高齢者12780人。その内認知症の方は1473人で、高齢者に占める割合は11・5%である。現在、グループホーム7施設で117人の定員。他に特養、老健施設等で受入れ体制も充実しているが、今後増え続ける認知症の対応が課題となる。予防も含めて伺いたい。

**答** 認知症になる確率は、75歳から79歳で7・1%、80歳から84歳で14・6%、85歳以上で27・3%とされている。今後も認定者は増えると予想される。初期の認知症でほぼ自立している人は、450人から500人と推測している。認知症の予防に向け高齢者の活動の場を増やす他、介護予防教室、介護予防運動教室を実施している。又、認知症になった場合の対応策として認知症なんでも相談室を開いている。



遠藤素子議員

質問事項

- 1 4月からの消費税増税及び社会保障の負担増から市民のくらしをどう守るか
- 2 子育て支援について
- 3 介護保険制度改定の影響について
- 4 伊方原発は再稼働させないで安全・安心なまちづくりを

**問** 政府は、4月から消費税を8%に引き上げ、一方で、社会保障の負担増・年金引下げ等を進め、合計10兆円もの負担増を押し付けようとしている。市民にどのような影響を与えると予想するか。

**答** 市民生活に負担増となることは避けられない。が、低所得者や中小企業などへの配慮は必要であり、「臨時福祉給付金」、「子育て世帯臨時特例給付金」、国の経済対策に基づき中小企業への支援強化など、国と連携しながら実施していく。

**問** 消費税のほとんどは、法人税の減税に消え、社会保障のためではなく、大企業や大金持ちのための増税になっている。そのもとで当市では今議会に、公共料金など、消費税増税と関わって48件の料金改定が提案されている。一つでも据え置くことはできないか。

**答** 消費税改定に伴い、今議会に条例改正案を提出している。全体では、約4750万円の見込み。円滑かつ適正に転嫁すべきと判断した。

**問** 来年4月から施行の「子ども子育て支援新制度」は、待機児童が4万9千人と、全国的には保育所不足のため、いろいろな形の保育を認め、待機児童をなくそうという発想から生まれた制度である。八幡浜では保育所は足りているが、保育士の方々に聞くと、「急病になっても休みがとりにくく」

「一時保育を断らなければならぬ時がある」など、「保育士が足りない」とのことであつた。これは、臨時やパートの保育士が多く正規の保育士が少ないため、他の仕事に行ってしまった結果ではないか。処遇改善が求められていると思うがどうか。

**答** 八幡浜市は人口減・子どもの減も予測される中、基本的には保育所の民営化という方向を考えているので、正規の保育士は、抑制すべきと思つている。

**要望** 企業は営利が目的。幼児教育の重要性から見て民営化でなく、最後まで行政が責任を持つ体制を崩さないでほしい。

**問** 福島の事故から3年、未だに多くの問題が未解決のままである。

昨年7月、「過渡現象記録」(飛行機のフライトレコーダーのようなもの)が一部公開された。その解析によれば、地震の揺れから1分30秒後に冷却水漏れが起こっている。これは、事故原因は津波ではなく、地震の揺れによって、いずれかの配管が壊れたことによるとのこと。

一方伊方原発が止まって丸2年、電力は十分賄えること、廃炉を決定して作業を進めれば、仕事は十分ある。雇用や地域経済の心配もない。伊方原発は再稼働させず、安全・安心な街づくりを求めるがどうか。

**答** 国・県の判断を待つて考える。



佐々木加代子議員

質問事項

- 1 子ども子育て支援について
- 2 消防団の処遇改善について

子ども子育て支援について

**問** 子ども子育て支援の新制度が平成27年度よりスタートするに当たり、先日行われた子育て世帯へのニーズ調査の結果を踏まえ、当市として今後の事業計画策定に向けての取り組みと方向性を伺う。又、「子育て支援総合推進モデル市町村」の指定を受けた大分県の豊後高田市のような子育て支援窓口の一本化による安心して子育てできる環境づくりが必要であると思うがどうか。

**答** 市子ども子育て会議で報告したニーズ調査の結果内容は、土曜午後保育や放課後児童クラブの充実、一時的に預かるファミリーサポートセンター事業など。今後の方向性として、基本的には今現在実現できていない保育サービスや事業についてニーズの量等を踏まえ、平成27年度以降5年間の子育て支援に関する項目とその目標数値を設定する。今後子育て会議で審議いただき、実現の可能性も踏まえそれに見合った適切な目標数値を設定。必要なものは計画策定作業と平行して実施に努めたい。子育て支援の窓口一本化の提案は、子育て中の家庭にとって非常に便利であり、他市の対応状況なども踏まえて検討してみたい。

消防団の処遇改善について

**問** 昨年12月に「消防団支援法」が成立施行。消防団を「将来にわたり地域防災力の

中核として欠くことのできない代替性のない存在」と定義し、団員の処遇改善や装備品、訓練の充実に向けた予算が確保された。当市において、消防団員の人員は充分足りているのか。若い団員の確保と高齢化などの現状はどうか。又、団員の年額報酬や動手当の額の改善にも取り組むべきではないかと思うがどうか。

**答** 人口減少及び少子高齢化進展とともに団員確保が困難な状況にあつたため、昨年より消防団OBを対象に各種災害に対しての初動対応、後方支援を行う支援団員制度を導入し70人の支援団員を確保した。昨年10月から八幡浜市消防団協力量業所表示制度にも取り組み、一定の地域防災力の充実強化につながっているものと思う。団員の年額報酬、出動手当は県下20市町の中で平均を上回る額となっている。今後も国の考え方を踏まえ消防署、消防団とも協議し適切な対応に努めたい。

**問** 緊急通報体制を迅速に行うためにも旧八幡浜市街地などの複雑な地番の見直しが必要なのではないか。

**答** 現状を放置することは行政サービスの根幹に係わる。昨年度より8回の会議を重ね、現在、方向を検討している。



岩瀨治樹議員

質問事項

- 1 大地震の際の液状化被害について
- 2 八幡浜市の人口減対策について

大地震の際の液状化被害について

**問** 河口に発展した八幡浜市は、多くの埋め立てを行って土地を広げてきた歴史がある。そのため、南海トラフなどの巨大な地震が起こった場合には、広範囲な液状化が発生することが懸念される。液状化の危険性対策として、全市的な地盤、地下水の状態を調査するべきと考えるがどうか。また現在指定されている20力所の津波避難ビル、避難路の橋梁に対する液状化の被害の調査・検討はされているのか伺う。

**答** 南海トラフ大地震における液状化による建物被害は、県全体で全壊1万642棟、半壊1万4382棟。当市では全壊181棟、半壊67棟と想定されている。当市が液状化の危険度が高いのは事実だが、県内で比較した場合、平均を下回る危険度レベルであり、市単独で液状化の調査をする考えはないが、県の調査結果を前提とした防災・減災対策を実施していきたい。また、津波避難ビルは、それぞれが液状化を想定した杭基礎で建てられているので、被害の発生はないと考える。市内の海岸部の橋梁も同様に杭基礎の為、落橋には至らないと思われる。

八幡浜市の人口減対策について

**問** これまでの市の人口減対策に関わる施策で、雇用、子育て、定住促進、婚活にあ

たる、それぞれの取り組みと、その効果を伺う。

**答** 雇用については、企業の流出を防ぎ、誘致する条例を幅広いケースに対応できるように改正して、15企業、510人の雇用を確保した。基幹産業の農漁業には各種の助成制度、農水産物の加工場新設により儲ける産業にし、雇用の場を広げたい。子育て支援は保育施設の内容を充実、各種出産相談事業などきめ細かな対応をし、婚活については、23年度からのイベント補助制度で、約400人の参加者を支援、さらに具体的な活動で成婚に結び付けたい。定住化支援は、愛宕山、元城団地の分譲、住宅建設補助、耐震化助成などに努めている。

**問** 今後、大都市においても人口減と高齢化は避けることが出来ない。小さな自治体だからこそ出来る事を考えるべき時に来ている。複合的、多面的な施策を要する人口減問題に対して、市庁を挙げて横断的に統括する専門の課、または機関等を作り、人口減歯止めプロジェクトを立ち上げるべきと考えるが如何か。

**答** 人口減対策は、業務内容が多岐に亘りかつ専門的。一本化するより全体を把握しながらそれぞれの方向性を発揮する中で作業を進めていくことがより効果的と考える。



石崎久次議員

質問事項

- 1 平成26年度当初予算について

① 大型事業に伴う起債等について

**問** 大型事業を本年度は計画しているが、箱物といわれる事業に約63億円が計上されている。このうちいくらが補助金で賄われ、市の持ち出しはいくらであるのか。

**答** 補助金約27億円、事業費の43・1%起債発行約35億円、事業費の55・5%、一般財源約8700万円、事業費の1・4%、起債発行分のうち、後で交付税措置される金額が約18億4千万円で、実質市の持ち出しは約17億5千万円となり、事業費の27・7%となる。

**問** 現在の起債残高と平成25年度の起債償還元金、及び利息はいくら払っているのか。

**答** 現在残高は約381億円で元金償還額は約36億円である。また、利息は約5億8300万円である。

**問** 市長は行財政改革を行っていくと言われているが、市長が就任された平成21年3月31日の市債残高は、約356億1800万円であり、現在の残高381億と比べて25億円ほど増加している。この現状を市長はどう考えるのか。

**答** 大きな事業を行っていくうえで起債の発行はやむを得ない。しかし臨時財政対策債といった将来100%交付税措置されるような、市にとって有利な起債の発行を

もって事業を行っているので、理解をいただきたい。

**問** 合併特例として10年間交付税が増額されてきたが、平成28年度から段階的に引き下げられ、平成32年度には増額分がゼロになると予測されるが、収入が減った分、借金返済及び事業の縮小、あるいは行政サービスの低下といったことも考えられるが、今後、行財政改革を含め、どのように考えているのか。

**答** 財政面の事を考えて長期的視野に立ち、行政サービスの低下につながるよう進めて行く。なお、国としても交付税増額分についての緩和的措置を考えている所であり、推移を見守っている所である。

② 縁結びコーディネーター事業について

**問** この事業を立ち上げた趣旨を伺う。

**答** 当市においての出産適齢者数の減少、さらに今おられる方々が結婚しない、結婚しても子供をつくらないという状況の中、結婚し、子供を産み育てられる環境を、行政が一步踏み込んで手がけることが、大切ではないか。今までの婚活事業と合わせ、政策推進課に担当を配置して、この面を充実させていくことも、八幡浜市発展のためには必要であろうと計画した次第である。

# 総務委員会報告

樋田 都 委員長

**八幡浜市災害派遣手当及び八幡浜市武力攻撃災害等派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

**問** 当市に3・11のような災害が起こった際、市に派遣された方への手当を当市が全額払うという解釈でよいのか。武力攻撃を受けた自治体という意味からするとテロ行為があつたという解釈でよいのか。

**答** テロなど緊急事態を要するときに被災地に派遣された職員の手当を派遣先の自治体が支払うもので、今回の改正では、新型インフルエンザ等緊急事態及び大規模災害において派遣された職員に対して手当を支給することが追加され金額は全国一律である。

**市民提案型まちづくり事業補助金マイナズ80万円の補正について**

**問** この事業は、行政に対して市民が広く深く協力していただくことを目的とすれば、もう少し採用する基準のハードル等を低くし、予算をもっと使っていたらどうか。

**答** 現在の取り組みとしては、3月末にプレゼン審査をし、4月に入ってすぐ提案事業者の事業が実施できるよう進めている。昨年は6件の応募があり4件の採用となっている。予算額200万円であるが、再度募集も含め大勢の方に使っていただけるよう工夫していきたい。補助金であることからあまり基準を下げてしまっても良いという形には出来ないが、一定ラインを定め

他市の状況を踏まえながら内容を再検討していきたい。

**(一般会計補正) 防災対策費、委託料2000万円、同じく工事請負費1億8000万円について**

**問** この予算は、放射線防護施設分について計上しているが、具体的には、どういう計画で、どういうレベルの工事をするのか。

**答** この事業は、昨年度大島の産業振興センターの4階を利用して、大島地区の住民の避難所、防護施設として整備をしている事業と同様のものである。今回、離島だけでなく周辺地域でもこの事業が追加されたことから市内で津波避難ビルの避難所となっている八幡浜市役所の5階大会議室を中心として防護施設を整備するものである。内容は開閉できない窓や二重窓への交換、仕切り扉の気密化、空気を浄化するフィルター付空調設備等を設置し、放射性物質の建物内への流入防止を図ることとしている。またフィルターを動かし電気をつけるための非常用発電機の設置も考えている。

**請願第6号 伊方原発を再稼働させないことを求める請願について**

**請願第7号 避難計画が策定され住民の安全が保障されるまで、伊方原子力発電所3号機の再稼働をしないことを求める意見書提出についての請願書**

**請願第11号 「新たな知見」で伊方原発の徹底検証等を求める請願**

これら3件については、より知見、学習を深める必要があることから閉会中の継続審査となった。

# 民生文教委員会報告

石崎 久次 委員長

**① 市立病院の人間ドックについて**

**問** 市立病院は、病気の早期発見、早期治療の目的をもって人間ドックを行っていると思うが、その結果が2ヶ月を経つても通知がこないという事はなぜなのか。

**答** ご指摘のとおりである。放射線科の医師が一名減少したこと等が原因である。ただ、大学の方にも応援をお願いしていて、今は一カ月程度で出来ている。

**② 老人対策費について**

**問** 高齢者緊急通報システムとは何か。

**答** 独居や高齢世帯の方で病み上がりとか、病気がちで何か体調が悪く連絡を取りにくい状態の時に、ペンダントみたいなものを持っていて、それを押すと緊急通報の事業所に連絡がいき、その方の身内の方あるいはご近所の方等登録をしている方に連絡をしていただくという事である。

**③ 大谷口火葬場跡地利用について**

**問** 半世紀以上に渡り地元住民の方々にご迷惑、お世話になってきたこの施設の解体ということであるが、昨年一度解体のための予算を通しているのに、また、今回追加の予算を計上しているがなぜなのか。

**答** 昨年9月の住民説明会の際には火葬棟のみの話をした訳であるが、住民の方から、待合室も解体してほしいとの要望があり今回の提案となった。今後とも地域住民の方の意見を聞きながら進めて行きたいと思っ

ている。

**④ 民生委員への情報提供について**

**問** 民生委員の方に個人情報保護という事で情報をお渡ししていないと聞くが、どうなっているのか。

**答** 今、福祉の方からは出してなかったと思うが、昨年の総務課、危機管理室の方から、障害者の方とか、いろいろな高齢者の一人世帯などの情報を、一度民生委員の方には出してはいる。民生委員からもいろいろ要望があるので、なるべく情報を提供できるように方策を練っていくということと考えている。基本的には民生委員も公務員であるので守秘義務がある。当然、障害者、独居老人など援助が必要な方について民生委員にも情報を提供し、把握していただくべきだと考えている。それについては少し検討させていただきたい。

**問** 民生委員からの要望があつたところに

**答** 提供に関しては、条例で定めるか、個人情報保護法に基づいてやるか。個人情報保護法の方で、八幡浜市としてはこういうふうな出し方をしたいという提案をして、そこで認められれば出せると思う。基本的には要援護者を対象としているが、その範囲をどこまで広げるか。要援護者については当然、ルールに基づいてやっていくと出せると考えている。

## 産業建設委員会報告

遠藤 素子 委員長

**八幡浜市カルチャーアイランド事業21条例の一部を改正する条例の制定について**

**（理事者説明）**今回は、事業縮小に伴う施設及び指定管理業務内容の変更などである。

**問** 事業縮小の報道で、利用者が減少し、指定管理者のやる気もなくなるのではないかと。

**答** 毎年、指定管理料として1400万円程度支出しているが、年々入場者数も減少しており、議会からも指摘を受けていた。今回検討の結果、赤字となっている釣り堀と飲食部分の廃止を決め、その経費を落とすことにした。外釣りについては、人気もあり、利用者も増加しているため、従来どおり人を配置して対応することとしている。

**問** 飲食施設は今後どうするのか。

**答** 今後も施設自体は残し、指定管理者が、市からの補助なしで、電気代などを支払い使用するのであれば、使用させる。

**平成25年度八幡浜市一般会計補正予算（繰越明許費）水産加工場建設事業について**

**（理事者説明）**これは水産加工場新築工事で、建設予定地の地中障害物により、工法検討等に日数を要し、年度内の完成が見込めなくなつたため、翌年度に1億4106万4千円を繰り越すものである。

**問** 完成後の運営委託事業所等は決定しているのか。

**答** 水産加工場は、八幡浜でとれる比較的安い魚を利用して魚価を向上させ、漁業者を支援するという趣旨で建設する。そのため、公共的な団体が運営主体となるべきと考えており、今回、八幡浜漁協が新規事業として加工部門を立ち上げるようになっているので、建物自体は市が建て、運営は八幡浜漁協に委託する予定である。

**問** 今後は、取扱量や魚価といったソフト面が課題ではないか。

**答** 魚の取扱量を増やすには、外からお客さんに来てもらう、或いは、個々で付加価値をつけ量販店や外食産業に売っていくことが必要だ。そうすれば、魚価も上がり自然に魚も集まってくる。そういう意味で、今回の水産加工場には、非常に期待している。

**木造住宅耐震改修工事費等補助事業補助金について**

**問** 今年度、どれだけの実績があったか。

**答** 平成26年2月末現在で、耐震診断1件、耐震設計1件の計2件である。補助額は、耐震診断は2万円、耐震設計は20万円となっている。

**問** 実績が少ないが、どのような方法で周知したのか。

**答** 「広報やわたはま」に掲載したり、真六地区、大島地区については、地元へ出向き、耐震改修出前講座を実施。また、王子の森公園周辺の約50軒に対しては、チラシを作成し戸別訪問をおこなった。

## 予算特別委員会報告

河野 裕 保 副委員長

**ふるさと納税寄附者に対する謝礼について**

**問** この予算については、206万円計上しているが、寄附総額としては幾らぐらいを想定して計上しているのか。

**答** 歳入で500万円を計上している。人数では400人程を見込んでおり、1万円以上寄附していただいた方に対して謝礼として特産品を贈呈することとしている。

**ひかり電話導入工事費について**

**問** この工事により、ひかり電話間の通信が無料になれば、経営上も良くなると思うが、市立病院と本庁と保健センターの3箇所だけなのか。このひかり電話を導入することによって、どのような利便性が発生するか。

**答** まず、外線の電話料が安くなるという点で、経費の削減が図れる。更に、これまで内線化されていなかった市立病院事務局、保健センターを内線で繋ぎ範囲を広げることによって、外線での通話が多い所の解消が図れる。その他のメリットとしては、一般の外部からの電話は、これまでは市の電話交換が一旦出て、関係部署へ繋いでいたが、今後はその方法も併用しながら、更にダイヤルイン制度を利用し各課に直接、電話番号を持てるようになる。

**地域交流拠点施設整備工事費及び地域交流拠点施設設備購入費について**

**問** この予算は、みなつとに倉庫を建て、

テーブル等の備品を購入するというところであるが、当初からそういうものが必要であるという発想は無かったのか。この予算は何かあった時のための予備と受け止められるが、どう考えるか。

**答** 現在、みなつとにある既存の倉庫は、どーや市場横のトイレ付近に設置している。その後、自転車のレンタル事業等、新たな事業が展開され、自転車やその他の備品を収納する倉庫が手狭になっていくことから新たに設置するものである。設置個所は、みなつとのフェリー側入口、左手の駐車場の数区画を利用したいと考えている。

**温泉掘削事業委託料について**

**問** 市民サービスとしての公衆浴場と聞いており銭湯を想像していたが、なぜ温泉開発に踏み込んだのか。

**答** 市民の間には、近隣の市町のように温泉を望む声が多くあるととらえている。また、温浴施設自体は当市にとつて魅力のある施設であり、さらに温泉となれば、市民にも喜ばれ、より魅力的な施設になると考えている。ただ、懸念される温泉掘削にかかる経費については、成功報酬という形を取り、リスクを出来るだけ少なくしたいと考えている。

**問** 成功報酬が支払われる基準は、一日に出るお湯の量や水が出た場合についてどう設定しようと考えているのか。また、温泉掘削するまでに要する人件費等の経費はどうするのか。

**答** 施設運営に必要な湧出量は、1分間あたり30リットルが一つの目安と考えている。

また、温泉法では、温泉源から採取される  
ときの温度が摂氏25度以上または、指定さ  
れた19の物質のいずれかが規定以上含まれ  
ていれば温泉と定義されている。従って、  
人件費等、温泉掘削に要する経費が掛かっ  
たととしても、温泉法で定義されている温泉  
が出なければ、報酬は支払わない。

**農産物加工施設建設について**

**問** 昨年の6月議会において、農産物加工  
施設の建設を要望したところ、理事者より、  
加工施設建設の方針は既に決定しており、  
遅くとも平成26年度の予算には形にしたい  
との答弁であったが、今回の当初予算に計  
上されていないが、どうなったのか。

**答** 平成26年度中に加工施設建設に向けて  
の検討委員会の立ち上げを予定しており、  
今回は、そのために必要な委員への謝礼と  
旅費のみの計上となっている。

初めに運営主体を決定し、そこからの具  
体的な要望、提案に対して検討していく方  
法を考えていたが、加工施設の運営を打診  
した事業所から断られたことにより、やむ  
を得ず、事業主体、場所などを検討委員会  
で一から検討しなければならなかった。  
加工施設については、ジュースだけでは  
なく、いろいろな商品開発もできる施設に  
したい。

**JR四国観光列車運行支援事業補助金に  
ついて**

**問** これはJR四国「伊予灘ものがたり」  
に対し、295万円を補助することだ  
が、具体的にどのような内容なのか。

**答** 「伊予灘ものがたり」は、JR四国が

本年7月の土曜日、日曜日、祝日に、松山・  
八幡浜間を2往復する観光列車で、八幡浜  
市での観光、飲食、買い物、宿泊等に期待  
して補助金を支出する。

市としては、JR八幡浜駅をレトロな観  
光列車にあつた正面入口に改装すること、  
写真撮影のためのスペースを設けること等  
を要望している。

**市立八幡浜総合病院の医療機器購入につ  
いて**

**問** 平成26年度に購入予定の医療機器の中  
に平成20年度に購入したものが含まれてい  
るが、医療機器を直ぐ更新することは市民  
の理解が得られないのではないのか。

**答** 医療機器は日々、進歩しており、多く  
の機器の耐用年数が5年の中、7年を経過  
した機器は、機種によっては機能的に相当  
劣るといのが医療関係者の常識である。  
今回、改築の関係で大きく更新を遅らせた  
ものもある。

医療機器の更新について今ある機器を移  
設する場合の移設費用等を含め、関係者で  
十分話し合った結果、平成26年度購入予定  
としている機器については更新が必要であ  
ると判断したものである。また、医師を確  
保するためにも優れた医療機器は必要であ  
ると考えている。

**意見** MRIやCTといった医療機器は非  
常に高額であるが、操作性などのこともあ  
るので、入札の際は、十分に医者意見を  
尊重して頂きたい。

**行政視察報告**

委員会	総務委員会	民生文教委員会	産業建設委員会	議会運営委員会
視察日	1月27日～29日	1月21日～23日	2月12日～14日	2月17日～18日
視察先	<ul style="list-style-type: none"> <li>○兵庫県高砂市 市民提案型地域協働推 進事業の取り組み等につ いて</li> <li>○兵庫県赤穂市 定住化促進事業の取り 組み等について</li> <li>○岡山県備前市 婚活支援縁結び係設置 の取り組み等について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大分県豊後高田市 豊後高田市子育て支援 事業について</li> <li>○福岡県福津市 こどもの国基本構想に ついて</li> <li>○佐賀県唐津市 鳴神温泉なのゆ木質 ボイラー導入事業につ いて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府京丹後市 猪・鹿肉の有効活用に ついて</li> <li>○京都府宮津市 放置竹林対策について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○愛媛県東温市 議会運営全般 常任委員会について</li> <li>○高知県須崎市 議会運営全般 常任委員会について</li> </ul>
視察風景	 <p>高砂市</p>	 <p>福津市</p>	 <p>京丹後市</p>	 <p>須崎市</p>

## 3月定例会 審 議 結 果

番 号	件 名	提案理由他	審議結果
報告第1号	専決処分報告について(市営住宅滞納家賃の支払請求に係る和解について)	市営住宅滞納家賃の支払請求に係る訴訟につき、和解が成立したため。	報 告
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	候補者 五藤修一氏(井上不二男氏後任) 候補者 福富洋子氏(道休明美氏後任)	異議のない旨答申
議案第1号	財産の取得について	八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合所管の観光センターを購入するため。	原案可決
議案第2号	公有水面埋立ての意見答申について	公有水面埋立法第3条第4項の規定により、意見を述べるため。	原案可決
議案第3号	八幡浜市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第4号	八幡浜市災害派遣手当及び八幡浜市武力攻撃災害等派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	新型インフルエンザ等対策特別措置法及び大規模災害からの復興に関する法律に基づき、災害派遣手当等を支給することに伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第5号	八幡浜市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第6号	八幡浜市立児童館設置条例の一部を改正する条例の制定について	厚生労働省が定める社会福祉施設の長の資格要件を満たすように市の要件を改正するため。	原案可決
議案第7号	八幡浜市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例の制定について	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第8号	八幡浜市水道事業の剰余金の処分等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方公営企業法施行規則等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第9号	市立八幡浜総合病院事業の剰余金の処分等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方公営企業法施行規則等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第10号	八幡浜市野外テント利用条例を廃止する条例の制定について	野外テント貸出制度を廃止するため。	原案可決
議案第11号	八幡浜市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第12号	八幡浜市庁舎の目的外使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第13号	八幡浜市地域交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第14号	八幡浜市若草介護予防センター設置条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第15号	八幡浜市若草交流センター設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第16号	八幡浜市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、消費税法等の改正及び経済変動によるし尿処理手数料等の適正化に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第17号	八幡浜市火葬場条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第18号	八幡浜市公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第19号	八幡浜市戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第20号	八幡浜市水産物地方卸売市場条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第21号	八幡浜市水産加工センター設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	条例における文言の適正化及び消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第22号	八幡浜市海産物直売所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第23号	八幡浜市駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	駐車場の利用状況に応じた料金区分の適正化及び消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第24号	八幡浜市建設残土処理場管理条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決



## 9 議会だより【平成26年5月】

議案第25号	八幡浜市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	道路法及び消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第26号	八幡浜市準用河川条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第27号	八幡浜市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第28号	八幡浜市小規模下水道条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第29号	八幡浜港港湾施設の管理及び利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正、観光センター及び北浜野積場の所管換え、並びに臨港道路7号線の新設に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第30号	八幡浜市楠町物流倉庫の管理及び利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第31号	八幡浜港港湾区域内の行為規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について	水域及び公共空地占用料の県及び近隣市町の水準への引き下げ、並びに消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第32号	八幡浜市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について	水域及び公共空地占用料の県及び近隣市町の水準への引き下げ、並びに消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第33号	八幡浜市カルチャーアイランド21条例の一部を改正する条例の制定について	事業縮小に伴う施設及び指定管理業務内容の変更、並びに消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第34号	八幡浜市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第35号	八幡浜市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第36号	八幡浜市簡易水道条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第37号	八幡浜市民会館条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第38号	八幡浜市文化会館設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第39号	八幡浜市立公民館条例の一部を改正する条例の制定について	平成26年4月1日から、舌田小学校を神山小学校に、及び日土東小学校を日土小学校に統合するため、並びに消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第40号	八幡浜市立地域体育館の設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	八幡浜市立地域体育館に、舌田小学校及び日土東小学校の体育施設並びに保内中央体育館を加え、社会体育施設として再編するため及び消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第41号	八幡浜市民スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第42号	八幡浜市民スポーツパークの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第43号	八幡浜市双岩コミュニティ公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第44号	八幡浜市宮庭球場利用条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第45号	八幡浜市立武道館設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第46号	八幡浜市立学校体育施設使用料条例の一部を改正する条例の制定について	平成26年4月1日から、舌田小学校を神山小学校に、日土東小学校を日土小学校に統合するため及び消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第47号	旧白石和太郎洋館設置条例の一部を改正する条例の制定について	消費税法等の改正に伴い、所要の改正を行うため。	原案可決
議案第48号	平成25年度八幡浜市一般会計補正予算（第4号）	88,310千円を減額し、歳入歳出予算の総額を18,818,480千円とする。	原案可決
議案第49号	平成25年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	93,688千円を減額し、歳入歳出予算の総額を5,765,906千円とする。	原案可決
議案第50号	平成25年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	2,166千円を減額し、歳入歳出予算の総額を535,582千円とする。	原案可決

議案第51号	平成25年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算(第4号)	6,536千円を減額し、歳入歳出予算の総額を4,175,387千円とする。	原案可決
議案第52号	平成25年度八幡浜市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	2,422千円を減額し、歳入歳出予算の総額を33,800千円とする。	原案可決
議案第53号	平成25年度八幡浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	5,061千円を減額し、歳入歳出予算の総額を71,415千円とする。	原案可決
議案第54号	平成25年度八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	93,900千円を減額し、歳入歳出予算の総額を1,983,129千円とする。	原案可決
議案第55号	平成25年度八幡浜市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)	17,130千円を減額し、歳入歳出予算の総額を98,493千円とする。	原案可決
議案第56号	平成25年度八幡浜市港湾整備事業特別会計補正予算(第2号)	30,103千円を追加し、歳入歳出予算の総額を85,316千円とする。	原案可決
議案第57号	平成25年度八幡浜市水道事業会計補正予算(第3号)	予算額 30,000千円減額。	原案可決
議案第58号	平成26年度八幡浜市一般会計予算	歳入歳出予算の総額は20,530,245千円。	原案可決
議案第59号	平成26年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額は5,682,620千円。	原案可決
議案第60号	平成26年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出予算の総額は578,600千円。	原案可決
議案第61号	平成26年度八幡浜市介護保険特別会計予算	歳入歳出予算の総額は4,199,263千円。	原案可決
議案第62号	平成26年度八幡浜市介護サービス事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額は36,816千円。	原案可決
議案第63号	平成26年度八幡浜市日土財産区特別会計予算	歳入歳出予算の総額は915千円。	原案可決
議案第64号	平成26年度八幡浜市駐車場事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額は98,193千円。	原案可決
議案第65号	平成26年度八幡浜市簡易水道事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額は216,795千円。	原案可決
議案第66号	平成26年度八幡浜市公共下水道事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額は1,986,609千円。	原案可決
議案第67号	平成26年度八幡浜市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額は109,444千円。	原案可決
議案第68号	平成26年度八幡浜市小規模下水道事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額は30,326千円。	原案可決
議案第69号	平成26年度八幡浜市水産物地方卸売市場事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額は45,813千円。	原案可決
議案第70号	平成26年度八幡浜市港湾整備事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額は87,495千円。	原案可決
議案第71号	平成26年度八幡浜市水道事業会計予算	予算額1,105,776千円(歳出ベース)	原案可決
議案第72号	平成26年度市立八幡浜総合病院事業会計予算	予算額10,506,577千円(歳出ベース)	原案可決
報告第2号	専決処分の報告について(主要地方道八幡浜三瓶線において発生した接触事故に係る相手方との和解について)	平成25年11月12日発生した市所有車両との接触事故により、双方の車両に損害が生じた。このため市及び相手方のそれぞれ支払うべき損害賠償の額を相殺し、相手方は、市に対し、金6,881円を支払う。	報 告
議案第73号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	辺地に係る公共的施設の総合整備を行うにあたり、総合整備計画の一部を変更する必要があるため。	原案可決
議長発議	予算特別委員会設置の件		原案可決
	予算特別委員会委員の選任 委員長 宮本明裕 副委員長 河野裕保 委員 西山一規、佐々木加代子、竹内秀明、岩淵治樹、平家恭治、石崎久次、樋田都、新宮康史、上田浩志、井上和浩、遠藤素子、山本儀夫、大山政司、萩森良房		指名推選
議案第74号	市立八幡浜総合病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決
議案第75号	平成26年度八幡浜市一般会計補正予算(第1号)		原案可決
請願第6号	伊方原発を再稼働させないことを求める請願について		継続審査
請願第7号	避難計画が策定され住民の安全が保障されるまで、伊方原子力発電所3号機の再稼働をしないことを求める意見書提出についての請願書		継続審査
請願第8号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願		不採択
請願第10号	「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の提出を求める請願		継続審査
請願第11号	「新たな知見」で伊方原発の徹底検証等を求める請願		継続審査
議員提出議案第1号	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書の提出について		原案可決
	議会閉会中における継続審査について		原案可決
	所管事務調査について		原案可決
	議員の派遣について		原案可決

## 3月定例会における各議員の議案に対する賛否の状況

議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
氏名 議案番号	西山一規	佐々木加代子	竹内秀明	岩淵治樹	平家恭治	河野裕保	石崎久次	樋田都	新宮康史	上田浩志	井上和浩	遠藤素子	宮本明裕	山本儀夫	大山政司	萩森良房
議案第11号 ～第17号	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ×	可 ○	可 ○	議長	可 ○
議案第37号 ～第48号	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ×	可 ○	可 ○		可 ○
議案第58号	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ×	可 ○	可 ○		可 ○
議案第74号	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ×	可 ○	可 ○		可 ○
請願第8号	否 ×	否 ×	否 ×	否 ×	否 ×	否 ×	否 ×	否 ×	否 ×	否 ×	否 ×	可 ○	否 ×	否 ×		否 ×
継続審査(請願第6号)	可 ○	可 ×	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ×	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○		可 ○
継続審査(請願第7号)	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ×	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○		可 ○
継続審査(請願第10号)	可 ○	可 ×	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ×	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○		可 ○
継続審査(請願第11号)	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ×	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○	可 ○		可 ○

賛否の分かれた案件を記載しています。そのほかについては全員賛成で可決されました。  
 [○：賛成 ×：反対 大山政司議長は採決に入っておりません]

### 第9回八幡浜駅伝カーニバル結果 1時間03分53秒(順位33位)

**八幡浜駅伝カーニバルに参加して**  
 市民と共に駅伝カーニバルを盛り上げることを目的に市議会有志者が初参加することとなり、私はアンカーとして五区を走りました。中継地点では、残り9人が四区の走者を待つのみとなり「あと残り20秒で繰り上げスタートを行います」との案内があった瞬間、四区走者の平家市議の姿が見え、何とかタスキを引き継ぎ、無事、完走することができました。結果は33



- 第1区 新宮 康史
- 第2区 原田 磯志
- 第3区 松本 克之
- 第4区 平家 恭治
- 第5区 上田 浩志
- 監督 河野 裕保

位でしたが、順位よりも参加することに意義があり、来年も出場を目指し日頃から努力したいと思っております。  
 五区走者 上田浩志

## 議 会 日 誌 (H 25.12.20 ~ H 26. 3. 2)

### ◆ 委員会活動状況

- |       |                                               |      |                                               |
|-------|-----------------------------------------------|------|-----------------------------------------------|
| 1月7日  | 議会だより編集委員会開催                                  | 29日  | 副議長がフジグラン北浜竣工祭及び開店記念披露宴に出席                    |
| 16日   | 行財政問題特別委員会開催                                  | 30日  | 議長がフジグラン北浜オープニングセレモニーに出席                      |
| 21日   | 民生文教委員会行政視察（大分県豊後高田市・福岡県福津市・佐賀県唐津市）<br>（～23日） | 2月2日 | 正副議長及び議員が第9回市民健康マラソン・第9回八幡浜駅伝カーニバルに出席         |
| 27日   | 総務委員会行政視察（兵庫県高砂市・兵庫県赤穂市・岡山県備前市）（～29日）         | 3日   | 議長及び議員が保内ブロック人権啓発講演会に出席                       |
| 2月12日 | 産業建設委員会行政視察（京都府京丹後市・京都府宮津市）（～14日）             | 5日   | 正副議長及び関係議員が第72回国民体育大会八幡浜市準備委員会設立総会並びに第1回総会に出席 |
| 17日   | 議会運営委員会行政視察（愛媛県東温市・高知県須崎市）（～18日）              | 9日   | 議長が日土ふるさと祭りに出席                                |
| 24日   | 議会運営委員会開催                                     | 12日  | 総務委員長が八幡浜市消防団大島分団夜警に出席                        |

### ◆ 庶務関係

- |        |                                       |      |                                                                           |
|--------|---------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------|
| 12月20日 | 議長及び関係議員が八幡浜市土地開発公社理事会に出席             | 13日  | 議長が全国市議会議長会社会文教委員会に出席（東京都）                                                |
| 28日    | 議長及び総務委員会正副委員長が市内消防夜警に出席（～30日）        | 15日  | 議員が八幡浜市人権・同和教育研究大会に出席                                                     |
| 1月3日   | 正副議長及び各議員が成人式に出席                      | 19日  | 正副議長が第60回南予市議会議長会定期総会に出席（西予市）                                             |
| 4日     | 正副議長及び議員が八幡浜青年会議所新年祝賀会に出席             | 20日  | 岡山県笠岡市議会3人が行政視察のため来庁                                                      |
| 7日     | 議長が新春消防査閲式に出席                         | 25日  | 議長及び正副産業建設委員長が南予水道企業団議会定例会に出席（宇和島市）                                       |
| 〃      | 議長が農業委員会新年会に出席                        | 3月1日 | 議長が川之石高校及び八幡浜高校定時制卒業証書授与式に、副議長が八幡浜高校卒業証書授与式に、民生文教委員会委員長が八幡浜工業高校卒業証書授与式に出席 |
| 10日    | 議長が八幡浜市青少年補導員会新年懇親会に出席                | 2日   | 副議長が第29回富澤赤黄男顕彰俳句大会に出席                                                    |
| 16日    | 議長が八幡浜市体育協会新年会に出席                     |      |                                                                           |
| 22日    | 佐賀県唐津市議会18人が行政視察のため来庁                 |      |                                                                           |
| 22日    | 議長が全国自治体病院正副会長・監事・相談役会議に出席（徳島市）（～23日） |      |                                                                           |
| 25日    | 議長及び議員が八幡浜市社会福祉大会に出席                  |      |                                                                           |
| 28日    | 山口県周南市議会6人が行政視察のため来庁                  |      |                                                                           |

### 編集後記

3月14日、真夜中の地震には、殆どの市民が胆を冷やしたことでしよう。大きな被害がなかった事は幸いでした。東北大地震から丸3年目、その3日後に予期せず起こった今回の地震は、東北の深甚な被害を風化させることなく、八幡浜全市民の安全を図る防災・避難計画を充実させ、しっかりと立ち立てることの大切さを、あらためて私たちに問いかけているような出来事だった気がします。ぜひ、その良いきっかけにしたいと願います。

岩 淵

#### 《議会だより編集委員会》

委員長	遠藤素子
副委員長	佐々木加代子
委員	岩淵治樹
委員	平家恭治
委員	河野裕治
委員	石崎久保
委員	上田浩志

TEL (代) 22311  
八幡浜市議会事務局